

令和5年1月 新春記者会見

と き 令和5年1月12日（木）
午前10時30分から
ところ 市役所 201、202、203 会議室

会見次第

- 1 市長あいさつ
- 2 市長就任にあたっての抱負
- 3 質疑
- 4 その他

犬 山 市

令和5年新春記者会見

昨年12月に就任して最初の記者会見なので、主にこの1期目に私が取り組みたい事業について、お話をさせていただきます。中には、来年度にすぐ取り組むことが可能なものもありますが、現在予算編成中ですので、具体的な報告は2月の記者会見でお知らせしたいと思います。

1. 子育てで未来への投資

- (1) 選挙で「小中学校の給食費の無償化の拡充」「多子多胎世帯への子育て支援の拡大」を掲げたことから、既に実施している第3子の無償化に加え、もう少し拡充したい。今後は、まずは第2子の中学校給食の無償化に向けて検討していく。
- (2) 子どもの遊び場を確保したい。天候や気温に左右されない屋内型キッズスペースの設置が望ましいと考える。そのため、その実現に向けて精力的に検討を進めていく。
- (3) 家庭訪問型の子育て支援については、アウトリーチ型に力を入れ拡充したい

2. 教育で子どもの成長支援

- (1) ヤングケアラーはとても大きな問題である。まずは小中学生全員を対象に端末を活用した実態調査を考えている。
- (2) 小中学校の普通教室については、既にエアコンの設置が完了している。この先は特別教室へ拡充していく必要がある。また中学校体育館へのエアコン設置も実現していきたい。

3. みんなで支えあう高齢者と福祉

- (1) 交通弱者への本当に有効な対応策を検討していく。現在のコミュニティバス、今年度実証実験するデマンド型乗り合いタクシー、高齢者へのタクシー助成などのサービスをセットで考え、利用者の満足度が高まる方策を検証し実行に移したい。
- (2) 元気な高齢者を増やすことが重要と考える。中でも嚙んだり、飲み込んだり、話したりする口腔機能の衰えを認知するためのオーラルフレイル健診を導入したい。
- (3) 手話言語、障害者に加え外国人を含めたコミュニケーション条例の制定に向け研究をしていく

4. 犬山の潜在力と可能性を活かしてまちづくりにつなぐ

- (1) NHKの大河ドラマ「どうする家康」が始まったが、小牧長久手の戦いに関する講演の講演録の発刊を予定していることもあり、連携できることがあれば取り組んでいきたい。
- (2) 犬山市への移住・定住は重要である。ターゲットをしぼり、有効な広告媒体（従前の者に加えYouTubeやグーグルなどのWEB広告も活用）を見極め、犬山市の魅力と価値の情報発信を進めていきたい。

5. みんなに寄り添う市役所

- (1) 市長が市民の皆さんと膝を突き合わせ、テーマを絞った意見交換の場の拡充をしていきたい。できればその後の政策に生かしていきたい。
- (2) 犬山市から転出していく皆さんにも、何らかの情報発信をしていくことで、犬山応援団づくりができるといいと考える。

6. 文化、スポーツ、市民活動でまちと人の活力をつなぐ

- (1) 令和6年に犬山市は市制70周年を迎える。具体的な事業について念頭はないが、節目の年なので、これまでの犬山市を振り返りながら、未来の犬山市を市民とともに考えていきたい。

7. 都市基盤整備で暮らしやすい地域づくり

- (1) 富岡荒井線が開通し、犬山市の交通の南北軸が新たにできた。ここからは、楽田、羽黒地区の東西軸の整備が重要である。楽田桃花台線や蟬屋長塚線などの整備を地域住民の意向も確認しながら推進していく。
- (2) ペット同伴避難所については、山田市長が着手してくれたので、より確実に避難所が開設できるよう取り組みを強化していきたい